

## ■相談受け付けています

家族の病気のことで、女性ならではの体の悩みなど、医師に聞いてみたいことを、  
〒700-8634 山陽新聞社 広告局 企画開発室  
「レディアホームドクター係」まで郵便でお寄せ下さい。  
メールで送る場合は [ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp](mailto:ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp)へ。  
プライバシーは厳守いたします。

## ■レディアホームドクターのホームページ

山陽新聞ホームページ(<http://www.sanyo.oni.co.jp/>)  
内にあるWEB企画 ◆ 連載・特集のホームドクターをご覧ください。

レディア  
ホームドクター

診察室から

か し じょう みゃく りゅう  
下肢静脈瘤の  
最新治療

について



下肢静脈瘤は、妊娠や出産をきっかけに発症するなど女性に多く見られる病気です。母親から娘へと体質を受け継ぐ場合もあります。生活習慣との関連が深く、立ち仕事の多い調理師、看護師、美容師、理容師、教師、旋盤工などでは男性にも多くみられます。

ほこぼこと盛り上がって蛇行する静脈が見た目に悪いだけでなく、脚が疲れやすい・むくむ・痛む、こむら返り、重症化すると静脈炎や皮膚炎から色素沈着を起こし、潰瘍になることもあります。女性ではスカートがはけない悩み、お年を召した方では、お孫さんの無邪気な一言に心を痛め、温泉に入るときに恥ずかしいという悩みを多く聞きます。しかし、この病気に対する認識は、一般の方にはもちろん医師も含めて低いのが現状です。「年だから仕方がない」「治療するほどではない」「もつとひとくなったら治療しましょう」などと放置されている例も少なくありません。

下肢静脈瘤は、静脈の中の逆流防止弁に過剰な腹圧が長期間かかることにより弁が壊れて起こる下肢の循環障害、栄養障害です。足の付け根と膝の後ろの弁が壊れる場合が多く、弁が壊れるとそこから下の弁も次々と壊れ静脈の中にたまった血液から染み出た水分で脚がむくみ、血管が押し広げられて瘤のように膨らんでいきます。

治療は、①弾性ストッキングなどの保存的治療 ②特殊な薬液を注入して静脈をふさぐ硬化療法 ③血液が逆流している静脈を取り除くなどの外科治療です。外科治療では、「ストリッピング手術」(悪くなった静脈を引き抜く)が標準的な治療法で治療成績も安定しています。通常、一週間程度の入院が

必要とされていますが、日帰り手術ができる病院もあります。

「手術は怖い」と治療を尻込みされる方への朗報が1990年代に登場した「血管内治療」です。より侵襲が少ない新しい視点からの治療法です。まずラジオ波を使う方法が開発され、続いて99年にレーザーによる方法が報告されました。レーザーの熱エネルギーで血管をふさいでしまう方法で、日本では2002年から治療が始まっています。治療時間は約30分で、歩いて来て歩いて帰るまったく新しい外来治療です。

当院に下肢静脈瘤日帰りセンターをオープンして、「家庭を空けられない」「仕事は休めない」が1日ですむなら治療を受けたいと望んでいる方が非常に多いことがわかりました。今回紹介した治療法(日帰りストリッピング手術・血管内レーザー外来治療)は専門的な知識と技術が必要な方法です。下肢静脈瘤でお悩みの方はぜひ一度、専門の医師にご相談ください。



解説医師  
しよこく 諸國 眞太郎 先生

## Profile

医療法人操仁会 岡山第一病院 院長  
1981年岡山大学医学部卒業、同第二外科に入局。  
1994年岡山大学附属病院講師。末梢動脈疾患、下肢静脈瘤など血管外科に携わる。2000年より現職。  
「下肢静脈瘤日帰りセンター」「Vasculer Lab」に積極的に取り組んでいる。

岡山市高屋343 TEL.086-272-4088  
URL: <http://www.okayama-daiichi.jp>  
e-mail: [info@okayama-daiichi.jp](mailto:info@okayama-daiichi.jp)